



▶ 夏期デイケアを終えて ◀

夏期デイケアは、特別支援学校在学中の児童生徒を対象とした夏休み限定のデイプログラムです。本年も8月の4週間を使って、計20日実施しました。利用登録者は小学部1年～高等部3年生の74名で、1日の平均利用者は17名でした。お一人が1週間に1～2日利用できるようにしています。



藤原 けい子

初日、部屋に入ってからられたお母さんに「今年のCグループは大きな人が多いのですか」と聞かれました。確かに、メンバーは変わっていないのに、横になったスペースは狭く感じます。「ひとりひとりの身長が伸びているからですかね」というと「そっういえば、うちの子ども最近とっても大きくなりました」と。

一年ぶりに会う子どもたちの成長は目を見張るものがあります。昨年は初めての利用で泣きべそをかいていた子どもが、アルバイトスタッフと楽しそうに笑って会話しています。回数を重ねるうちに、よく視線が合うようになったな、笑顔が増えた、やりとりが楽しめるようになったと、内面の成長がうかがえる色々な表情もみえてきました。

20日間だけの夏期デイケア、一人の利用は多くて7日。考えると極わずかな関わりですが、子どもたちの変化に一年間のがんばりを感じる事ができました。猛暑を乗り切り切り学校生活に戻っていく子どもたち、また来年の夏、一回り大きくなつて来てくれることを楽しみにしています。
(はるか 係長)



▶ 地震訓練を行いました ◀

9月1日に地震総合訓練を行いました。地震の警戒宣言発令から、地震発生後まで、一日を通じての訓練でした。

渡辺 義之

その内容としては、午前には、警戒宣言発令と共に、家具の固定・窓ガラスの飛散防止・落下物の除去・人工呼吸器の固定などから始まり、中庭へのテントの設営・炊き出し訓練を行いました。炊き出し訓練では、カレーライスを作り水加減も決まって好評でした。

午後には、発電機の説明をして実際に発電機を動かしてみる訓練や野外トイレの組み立て・浄水器の説明等を行いました。しかし、残念ながら全員の参加ではないので、スタッフが把握できる様に繰り返して行うことが必要です。

また、地震訓練に限らずおそろでは、火災発生時による初期消火・伝達訓練・避難誘導などの火災訓練や、病気が悪化したときに心肺蘇生を行いながら病院に搬送する、緊急搬送訓練にも力を入れて行っています。

災害は起こらない方が良いのですが、いざと言うときに日頃の訓練が役立つように、訓練を重ねて行きたいと思えます。

(あすか 看護師)



苦情解決委員会より

平成 22年 4月～6月
苦情はありませんでした

	7月	8月
ショートステイ	75人 (315日)	80人 (341日)
日中一時支援	3人 (12日)	3人 (8日)
夏期デイ利用者 (日中一時支援)		74人 (349日)
ボランティア	28人 (5グループ)	0人 (0グループ)
実 習	8人 (3グループ)	7人 (4グループ)